

竹尾年助（たけおとしすけ）（1/2）

～工作機械作りの先駆者～

唐津の西唐津地区に、唐津鐵工所という工作機械造りの会社があります。この会社を育て、日本の工作機械造りの先駆者として活躍したのが竹尾年助です。

年助は、明治6年（1873年）、愛知県に、竹尾彦九郎の三男として生まれ、蔵前高等工業学校、アメリカのスティーンズ工科大学を卒業し、さらに、ボストンやニューヨークで3年間仕事をしました。その後、日本に戻り、大阪鐵工所に勤めているときに、竹内明太郎の招きを受けて、唐津鐵工所の設立に加わることになり、明治40年（1907年）に唐津に来ました。

竹内は、北波多の芳谷炭坑や石川県小松の銅山の経営者として大きな事業をしていましたが、石炭や銅山の経営は地下の鉱床の優劣に左右されることを不安に思っていました。そして、もっと永続きがして、もっと新しい製品作りのできる事業をしたいと考えました。

その思いを実現するために生み出した会社の1つが、唐津鐵工所であり、もう1つが、石川県の小松製作所です。2つの会社に共通した考えは、将来の日本を支えるのは 優秀な製造業であるという、産業立国の考えでした。この考えの正しさは、約100年を経た現在も少しも変わっていません。

唐津鐵工所が、芳谷炭坑の付属鐵工所として、機械の製造を開始したのは、明治42年でした。当初は、炭坑用機械や唐津港に多数入港した船の修理部品製造でしたが、明治44年からは、当時最先端の製品であった工作機械の製造を始めました。以来今日までの約100年間、唐津鐵工所は、工作機械造り一筋の道を歩んできたのですが、その基礎を作り、今日までも続く機械造りの精神を植えたのは年助です。大正5年（1916年）に竹内鉱業から分離独立して株式会社唐津鐵工所の社長になってから、『用うるに利有るものを作り、売るに利有るものを追わず』（使う人が得をするものを作ることが一番大切なことであり、売ってもうけていくことはその次である）を会社の方針としました。昭和31年（1956年）に83歳で亡くなるまで、工作機械造りひとすじにたずさわりました。

また、年助は経営者としても優れた能力を発揮した人物といえます。それは、合理主義に徹するということと、人作りを最も重要なこととする方針に現れています。

合理主義の追求には、次のようなことが実行されました。明治の末ごろは、会社も商店も休みは1日と15日だけでしたが、年助はアメリカでの経験から毎週日曜日に休むことが、健康上合理的であると考え、すぐに唐津でも実行しました。そして、残業については、原則としてゼロにするという方針を永く実行しました。残業をしないで、定められた時間内の生産性を最大限に上げようと考えたのです。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



竹尾 年助
(1873～1965)



大正時代初期の工場全景
1915年ごろ

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html

竹尾年助（たけおとしすけ）（2/2）

～工作機械作りの先駆者～

～1/2からつづく～

もう1つの合理的手法は、カードシステムという、作業時間の管理と記録のシステムを明治末に確立したことです。これもアメリカで学んできたことです。このことによって、すべての作業の生産性を把握し、製品の原価を正確に計算することが初めて可能になったのです。当時ほとんどの会社では、ドンブリ勘定といわれる計算に頼っていた時代にしては、大変新しいシステムでした。この方法も現在まで受け継がれています。

また一方では、人作りについても社内に学校を作り、明治末から昭和35年ごろまで約50年間続けられました。当時大学卒業の社員が先生になって、15歳で入社してくる青年に、3年間毎日2時間（英語・国語・数学・物理）の授業をします。

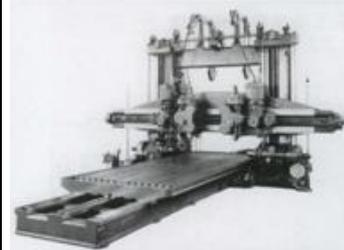
さらに職場には、ヤスリガケなどの金属の加工に関しての基本技能を徹底して教える伝統が育っていたので、たくさんの優秀な技能者が育ちました。このことは、会社の利益よりも、人作りこそがより大切なことであるという考えによるものです。

このような会社の考え方を生み出したのが、創業者竹内明太郎であり、初代社長の年助でした。約100年経っても、2人の考えは生き続けています。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



プラノミラー
大きな船のエンジンなどを作る機械
(1938年完成)



タービンローター旋盤
原子力発電などの大きな回転軸を削り出す機械(1991年度完成)

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html